

(様式第 1 号)

## 新規調査研究計画書（全体計画）

調査研究 課 題	野生鳥獣（イノシシ等）の病原体保有状況調査
計画期間	平成 28 年度～ 30 年度 3 年間
背 景 必 要 性	<p>本県の野生イノシシは毎年増加し、農作物に対する被害も深刻な状況となっており、各市町村は有害鳥獣捕獲事業によりイノシシ等を捕獲している。一方、野生イノシシは食用としての流通も増加する可能性がある。</p> <p>E 型肝炎は、国内感染例が相当数あり、ブタ、イノシシ及びシカの生食による感染が原因となった事例が多数報告されている。また、マダニ媒介性の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、2013 年に国内で初めて患者が確認され、全国各地のマダニからウイルスが検出された報告があるが、県内の調査報告はない。マダニは、イノシシ等に多く付着しており、イノシシの捕獲作業から不安の声があがっている。</p> <p>以上のことから、市町村が実施している有害鳥獣捕獲個体（イノシシ）を利用して、イノシシ等が関与していると思われる病原体保有状況を調査する。</p>
目 的	<ul style="list-style-type: none"><li>・イノシシの E 型肝炎ウイルス及び抗体保有状況を調査する。</li><li>・マダニの SFTS ウイルス及びイノシシの抗体保有状況を調査する。</li><li>・ブタの近縁であるイノシシのインフルエンザウイルス保有状況を調査する。</li></ul>
計画内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・県内 3 地区（県北・県央・県南）の有害鳥獣捕獲個体（イノシシ）の血液、肝臓、糞便を採取し、E 型肝炎ウイルス遺伝子検査及び抗体価を測定する。</li><li>・イノシシに付着しているマダニを採取し、SFTS ウイルス遺伝子検査及びイノシシの SFTS 抗体価を測定する。</li><li>・イノシシの鼻腔拭い液を採取し、インフルエンザウイルス遺伝子検査及び分離同定検査を行う。</li></ul>
研究目標 （達成しようとする成果及びその活用方法）	県内の野生イノシシが保有する E 型肝炎ウイルス等の病原体の保有状況の実態を明らかにするとともに、遺伝子解析等を行い全国の状況と比較検討する。また、イノシシの捕獲に携わる人やイノシシ肉を取扱う（解体や喫食等）人をはじめ、広く県民に対し安全に取り扱うための注意喚起を行う。
実施上の 課題及び 対 応	検査に用いる検体については、有害鳥獣捕獲個体（イノシシ）を使用するため、市町村を通じて猟友会の方々の協力が必須である。有用な検体を確保するため、関係者との連絡調整等を十分に行う。
備 考	

## 事前評価結果報告書

平成 27 年 9 月 16 日

調査研究課題		野生鳥獣（イノシシ等）の病原体保有状況調査	
評価項目	評価	意見	備考
①必要性	4, 5, 5, 4, 5, 3 平均評価点：4.3	外部委員 ・近年の有害鳥獣に関する様々な問題を含む事項に関する調査で、県内での必要性がある重要な課題といえる。 ・他県と比較して、茨城県では未だこのような調査が行われていないため、社会的な必要性が認められる。 ・近年、ジビエ料理と称して野生動物を食する機会が多く、また将来に亘って安全に食材を確保するためにも重要な情報を提供する。	
②目的の適合性	5, 5, 4, 4, 5, 4 平均評価点：4.5	外部委員 ・県のレベルでの個々の問題を含む我が国の問題であり、また、生物環境、感染症、食の安全に関わるので、衛生研究所が行うのは妥当であると思われる。 ・茨城県は、イノシシの捕獲頭数も他県と比較すると多い県であるので研究材料を確保するのに適している。	
③計画内容等の妥当性	4, 5, 4, 4, 5, 3 平均評価点：4.2	外部委員 ・妥当な研究計画であると考ええる。 ・イノシシの 1 個体から複数の情報を得るので費用対効果は良好と考ええる。	
④目標の達成及び活用可能性	4, 5, 4, 4, 5, 4 平均評価点：4.3	外部委員 ・複数の調査になるが、達成は可能であろうし、成果は結果が出次第有効活用できる。 ・原発事故以降、イノシシ肉の出荷停止となり、捕獲量が減少している状況にある。研究材料の確保に努力してほしい。 ・県の情報を得るとともに、公表することにより国内状況の情報となり、対策に役立つ。	

<p>⑤総合評価</p>	<p>4, 5, 4, 4, 5, 4</p> <p>平均評価点：4.3</p>	<p>外部委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県は未実施な部分もあるので、是非これを実施し、現状と課題を明らかにして欲しい。</li> <li>・野生イノシシの捕獲のために猟友会との密接な連絡のもと、研究を実施してください。</li> <li>・イノシシが保有する病原体の検査として、E型肝炎、SFTS、インフルエンザの流行状況を関連付けて考察してほしい。</li> <li>・食の安全、捕獲者の安全、感染症対策に関わり有用な情報を与える。</li> </ul> <p>内部委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか興味深い研究で、結果を期待する。</li> </ul>	
<p>⑥計画実施の評価</p> <p>A：実施相当</p> <p>B：計画を見直し 実施相当</p> <p>C：実施不可相当</p>	<p>A：6人</p> <p>B：</p> <p>C：</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p style="text-align: center;">最終評価</p> <hr/> <p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">A</span> <span style="padding: 0 5px;">B</span> <span style="padding: 0 5px;">C</span> </p> </div>	<p>評価の理由や助言等 (評価「B」の場合は見直しを要する事項)</p>

評価点 1：不良 2：やや不良 3：普通 4：やや良好 5：良好